

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイからつ		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援から生活介護まで、様々な年齢の方が利用するため、多年齢の交流がもてる。	交流しやすいよう、環境設定をおこなったり、交流のきっかけをスタッフが作ったりしている。	全員で参加できる活動や行事の充実、お出かけなどを実施していく。
2	様々な専門職が在籍していること。	保育士が立案する活動に訓練士がそれぞれの運動機能や発達レベルに応じた工夫や姿勢設定を行い、看護師が姿勢や活動内容に無理がないかサチュレーションをモニタリングして、安全に行っている。	それぞれの専門性を高めて、支援内容がより充実するよう、研修への参加や事業所内の学習などを図りたい。
3	周囲に資源が充実していること。	周囲に海、自然、神社、公園など、環境が充実しており、様々な体験を提供しやすい環境にある。また、周囲にケーキ屋さんなどの店舗が点在しており、お買い物の際に地域の方々との交流が行える。	地域の方たちに事業所の認知を高め、事業所からも地域の方からも交流の機会を作れるようにしていきたい。また、季節ごとの自然を感じる体験を提供していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様の身体機能、運動機能に差があり、施設設備の統一性が図りにくい。	賃貸物件であり、スペースや駐車場など自由に変更できないため、ハード面での対応が限界がある。	可能な範囲での改修は行ってきたため、細かなところは道具などを工夫し可能な限り個人々々に対応出来るようにしていく。
2	集団での経験を促しにくい。	事業所の定員の関係上、事業所内で同年代のお子さんと大人数で遊ぶ経験を提供することが難しく、併行通園していない方には経験が不足してしまう可能性がある。	現在も行っているが、地域の園との交流を継続し、同年代とお子さんとの交流する機会が持てるよう図っていく。
3	事業所内や外部研修への参加が難しい。	スタッフの人手の問題や休日に研修に行ける状況にない(育児中など)ことにより、研修の参加が難しい。研修の情報が入ってきにくい。	平日にオンラインで受けられる研修や、県の療育センターが企画している研修などを利用し、休日でも研修を受けられる機会を検討していく。